

辰巳芳子

海、山、畑の恵みを渾然一体化し、

最も吸収しやすい状態にした食べ物、おつゆ。

この言葉の表現には、天の露のイメージがありありと見える。

露を受け、生き返る地上のものたちと、人々が露をいただき、

息づいた瞬間を重ね、思わず…おつゆ。

日本人ならではの愛の発露ではないか。

天のしずく

辰巳芳子 “いのちのスープ”



河邑厚德 監督・脚本

朗読：草笛光子 ナレーション：谷原章介 音楽：吉田潔

撮影：本田茂 照明：高坂俊秀 技術：野澤勝一 助監督：岩井優介・伊賀俊徳 編集：菊尾明子 音楽監督・音響効果：尾上政幸 プロデューサー：次内真由美・鈴木正義 総合プロデューサー：小泉修吉
企画・製作：天のしずく製作委員会（株式会社環境テレビトラスト、株式会社NHKエデュケーショナル、クインテッセンス出版株式会社） 配給：環境テレビトラスト
助成：委文化芸術振興費補助金 2012年／カラー／16:9／デジタル／113分 ©天のしずく製作委員会 <http://tennoshizuku.com>

愛することは
生きること



映倫

「辰巳芳子の言葉」より

昨今のうたい文句「簡単即席」に人間が生命を全うする真実があるでしょうか。食といふことは、あまりにも当たり前のことですので、つい日常茶飯の扱いになります。でも、本当を申しますと日常茶飯ほど、これなくしてはやれない、生きていかれないことが多いのです。料理は、本当に食の一端でございますが、ですけれどもその小さな一端にありながら、生きていく全体に対して一つの影響を及ぼしてまいります。食べごちを作っていくということは、最も基本的な自由の行使。そして料理を作る事は、自然を掌中で扱うことなのです。それは人間にのみ許された厳粛な行為だと思います。



いのちの響きが奏でる



天のしずくの物語

辰巳芳子さんが病床の父のために工夫を凝らして作り続けたスープは、やがて人々を癒す「いのちのスープ」と呼ばれるようになりました。いのちの始まりには母乳があり、最後に唇をしめらす末期の水があります。人のいのちは絶えることなく流れる川のようにです。

映画で描かれる、辰巳芳子さんのスープにも長い物語があります。森、海、田畑など日本の風土が生み出す食の恵み。ていねいに、素材をいじめないよう素材が喜ぶように作り出されたスープ。家庭や病院などで、それを口にした人々のホッと息づく表情。スープが結ぶ絆が見えてきます。脳梗塞で倒れ、嚥下障害で食べる楽しみを奪われた父。その最後の日々を、母と娘が工夫した季節のスープが支え、「いのちのスープ」の原点となりました。映画では、志を持って土を耕す全国の生産者や、日本の自然にもカメラを向けました。作物は、繊細で美しい自然風土の象徴です。そしてそれぞれの素材と一つになって調理する辰巳芳子さん。そのスープを口にする人々。

映画「天のしずく」は天から地、そして人へといのちの響きを奏でていきます。この映画で描かれるスープの物語は、辰巳芳子が唱える、食を通して見える「いのちと愛」の道筋を描こうとするものです。



監督 河邑 厚徳



●辰巳芳子プロフィール 1924年生まれ。料理家・作家。料理研究家の草分けだった母、浜子の傍らで家庭料理を学ぶ。自然の恵み食材へ深い愛情を込め、本物の食を追求する。日本料理だけではなく、独自に西洋料理の研鑽も積み、生きる力を支える食への根源的な提言を続けている。父を看取ったスープは、全国で多くの人に飲まれ「いのちのスープ」として静かな感動の輪を広げている。現在は「良い食材を伝える会」「カイロス会」「確かな味を造る会」などの会長を務め、全国の小学生に大豆の種を蒔き育てる「大豆100粒」運動を提唱し参加校は300を超えている。著書に「あなたのために～いのちを支えるスープ～」「味覚日常」「手からこころへ」「食の位置づけ」「食といのち」「いのちの食卓」「辰巳芳子の匂を味わう」等多数。

●河邑厚徳プロフィール 1948年生まれ。映画監督。女子美術大学教授。元NHKプロデューサー。「がん宣告」「シルクロード」「アインシュタインロマン」「チベット死者の書」「エンデの遺言」「インターネット・キュメンタリー・地球法廷」「世界遺産プロジェクト」など特集ドキュメンタリーを企画、制作。精神世界、アート、理論物理学、現代史などをテーマに最新の映像技術を使った斬新な表現手法で高い評価を得ている。著書に「チベット死者の書」「昭和20年・夏の日記」「エンデの遺言」「新藤兼人の大老人」「藝大生の自画像」「一粒の種～生活クラブ生協レッスンone」等。

天のしずく

辰巳芳子「いのちのスープ」

<http://tennoshizuku.com>

8月31日(土) 18時30分 エルパーク仙台ギャラリーホールにて上映 料金 千円
連絡先: TEL 022 (256) 2068 八島 E-mail: mail@yashima-em.com
申し込み後に入金手続きをお願いします。 振込先) ゆうちょ銀行 (記号) 18120
番号) 406381 名義) スズキ トオル (ATM処理すると手数料はかかりません)
主催: 地球環境共生ネットワークみやぎ (U-net みやぎ)